

▼ 第 47 回 がん疫学・分子疫学研究会総会プログラム

2024 年 9 月 2 日 (月) (ウイंकあいち 1008 号室)

18:30-19:30 幹事会

2024 年 9 月 3 日 (火) (ウイंकあいち 1001 号室、受付は 1008 号室)

9:00 受付開始、開場

9:30-9:40 開会挨拶・『コホート・生体試料支援プラットフォーム』による研究支援、とくに日本多施設共同コホート(J-MICC)研究の解析テーマ公募、JACC Study のデータアーカイブについてのご紹介

大会長 若井建志 (名古屋大学医学系研究科予防医学)

9:50-11:30 一般演題口演 1 (発表 10 分、質疑応答 4 分) 7 名

座長 菱田朝陽 (愛知医科大学医学部公衆衛生学講座)

O-1 Effect of genetic risk feedback on modifiable lifestyle changes for breast cancer prevention: A randomized controlled trial. Daisy S Mojoo (Aichi Cancer Center Research Institute & Nagoya University Graduate School of Medicine)

O-2 喫煙行動関連遺伝子多型と肺がんリスク：媒介分析による組織型別の検討 山本清花 (愛知県がんセンターがん予防研究分野、名古屋市立大学大学院医学研究科 呼吸器・免疫アレルギー内科学)

O-3 膵管閉塞が膵頭部癌患者の栄養状態・術後予後に及ぼす影響 日高敬文 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 疫学・予防医学、同 消化器外科学)

O-4 喫煙や飲酒と関連する DNA 損傷分子・DNA 付加体の質量分析と分子疫学の統合 岩下雄二 (愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野)

O-5 BRACAnalysis にて BRCA1 遺伝子の Inconclusive と判定された姉妹症例で同定されたレトロトランスポゾン挿入による転写異常 江口英孝 (順天堂大学・院・医 難病の診断と治療研究センター)

O-6 細胞外小胞由来 miRNA のための 3D-Gene マイクロアレイ用前処理パイプラインの開発 中柄昌弘 (名古屋大学大学院医学系研究科実社会情報健康医療学)

O-7 SomaScan は性腺刺激ホルモンや前立腺特異抗原の血中濃度に性差を検出した 別保るり波 (名古屋大学医学部実社会情報健康医療学講座)

11:30-12:00 研究会総会

12:00-13:00 昼休憩

13:00-13:50 ポスターセッション (発表 8 分、質疑応答 4 分) 4 名×2 グループ並列

## グループ 1

座長 林 櫻松 (愛知医科大学医学部公衆衛生学)

P-1 大規模コホート研究の統合解析を推進するための情報共有基盤 田嶋哲也 (国立がん研究センターがん対策研究所コホート研究部)

P-2 試料の情報化と利活用促進に向けたバイオバンク・ジャパンの取り組み 松田浩一 (東京大学大学院新領域創成科学研究科、東京大学医科学研究所)

P-3 ビタミン D 摂取量とビタミン D 受容体発現量で細分類された大腸がん罹患リスクとの関連について 中野詩織 (国立がん研究センターがん対策研究所)

P-4 食道がん患者のがんゲノムプロファイル検査で生殖細胞系列バリエーションの可能性が指摘された SDHA 遺伝子のスプライシング異常 吉岡紗花 (東邦大・理・生物分子科学、順天堂大・院・医)

## グループ 2

座長 和田恵子 (岐阜大学医学系研究科疫学・予防医学)

P-5 社会経済的格差が喫煙・飲酒を介してがん死亡に及ぼす影響についての媒介分析 柘植博之 (愛知県がんセンター研究所 がん情報・対策研究分野、名古屋市立大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学)

P-6 空間的従属性を考慮したフルベイズモデルに基づくがん死亡リスクおよび地理的剥奪指標との関連度合いの臓器別・都市度別推定 小柳友理子 (愛知県がんセンターがん予防研究分野)

P-7 日本人における野菜および果物の摂取と全死因死亡率および原因別死亡率との関連：日本多施設共同コホート研究 (J-MICC Study) 加藤泰文 (名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野)

P-8 都市住民コホートにおける胃がんリスク層別化を併用した胃がん検診の効果比較研究 (東京胃がん検診追跡調査) 小野綾美 (国立がん研究センターがん対策研究所コホート研究部)

14:00-15:50 シンポジウム「研究間の協同によるエビデンス創出」(発表 15 分、質疑応答 3 分) 5 名+総合討論 20 分

座長 井上真奈美 (国立がん研究センターがん対策研究所)、若井建志 (名古屋大学医学系研究科予防医学)

S-1 The Asia Cohort Consortium: History and overview of international collaborative research for global health policy in Asia Sarah K. Abe (国立がん研究センターがん対策研究所予防研究部)

S-2 日本人の科学的根拠に基づくがん予防の実現のためのコホート連合の役割 -Japan

Cohort Consortium (JCC) 井上真奈美 (国立がん研究センターがん対策研究所)

S-3 日本分子疫学コンソーシアムにおける取り組み 岩崎 基 (国立がん研究センターがん対策研究所疫学研究部)

S-4 37 万人規模の日本ゲノムコホート連携の構築と運用体制 清水厚志 (岩手医科大学医歯薬総合研究所生体情報解析部門)

S-5 ALDH2 rs671 遺伝子層別の飲酒 GWAS-疫学コンソーシアムを使った研究の実例 松尾恵太郎 (愛知県がんセンター研究所がん予防研究分野)

16:00-17:25 一般演題口演2 (発表10分、質疑応答4分) 6名

座長 伊藤 秀美 (愛知県がんセンター研究所がん情報・対策研究分野)

O-8 高山スタディにおける身体活動、座位生活と全がん罹患リスクとの関連 杉野正晃 (岐阜大学大学院医学系研究科疫学・予防医学)

O-9 日本人における小魚摂取と全死亡との関連：日本多施設共同コホート研究 笠原千夏 (名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野)

O-10 肥満指数 (BMI) と肺がんリスク～日本の前向きコホート10研究の統合解析より～ 川合紗世 (愛知医科大学医学部公衆衛生学講座)

O-11 諸外国のがん計画における健康格差対策の視点 - 格差対策とモニタリング指標のレビュー 西尾麻里沙 (国立がん研究センターがん対策研究所、京都大学大学院 医学研究科 社会疫学分野)

O-12 社会環境指標に着目した膵臓がん年齢調整死亡率の地域格差とその変化 須藤靖弘 (大阪医科薬科大学)

O-13 次世代多目的コホート研究による、郵便番号区に基づく剥奪指標に対応する個人レベルのSESの関連についての分析 花房真理子 (国立がん研究センターがん対策研究所コホート研究部)

17:25-17:30 閉会挨拶

大会長 若井 建志 (名古屋大学医学系研究科予防医学)

情報交換会 (18:00-21:00、会場「山 ワンランク上の世界の山ちゃん GEMS 名駅三丁目店」)